

えんがわ

第4号

2007年7月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
Tel.046-852-1182

ある利用者 さんとの 出会いから

ある日、その方は事務所に杖を突きながら、突然来所されました。「膝の骨折をしたので、お願いしたいのです。同居の家族はいるが、仕事をしていて迷惑をかけられない。自分で入浴できるまでデイサービスに行きたい。入浴のための道具を買いたい」とのお話でした。

デイサービスに行き始めて、「こんな所とは思っていたが、いろいろな事をやるのね。意外と楽しいわよ」とデイサービスに通われ、こんなに思えるのかと思うほど、自宅でリハビリを毎日

されていました。病院でのリハビリが終了した頃、ステップのないバス時刻表と一緒に見ながら、バスの乗り降り実行計画をされ、「実行したわよー」の笑顔に私までもが元気を頂きました。

介護保険制度との狭間でケアマネジャー自身も、自分が冷たい事を言っているのではないかと、悲しくなってしまうことも少なくありませんが、出会いに感謝しつつ、また、明日もがんばろうと思う毎日です。

衣病ケアセンター 佐野



えんがわ在宅 ひとくちメモ

入浴ひとくちメモ

ヨーロッパの中では、古代ローマ人の入浴好きは有名でした。

また、ドイツ人の入浴好きも有名で、今日でもドイツに行けば分るように公衆浴場が普及しています。

しかし、これらは十六世紀までに大きく衰退しているのです。なぜかというところ、キリスト教が入浴は快楽であると禁止したからです。ルネッサンス以後、入浴の風習は復活しましたが、あまり一般化せずにはいました。

十九世紀に入ってから、ようやく健康の立場から見直され、今日に至っているのです。

入浴サービス 津田



雨の日が続きます。発行する頃には、そろそろ梅雨も明けそうです。

だんだんと、この「衣笠在宅かわらばん えんがわ」も順調に発行できるようになってまいりました。

衣笠病院グループの在宅ケアのスタッフが訪問の際には、ぜひ、感想をお聞かせ下さい。